

問い合わせ先

海洋情報部 海洋調査課

海洋調査課長 深江 邦一

TEL099-250-9800(内線 2530)

平成18年9月28日

第十管区海上保安本部

## 南西諸島の海域火山調査

海上保安庁では、10月5日からの3日間、火山噴火予知のための基礎資料を整備するため、当庁航空機により、薩摩硫黄島、口之島等の南西諸島の海域火山調査を行います。

### 1 概要

第7次火山噴火予知計画(文部科学省科学技術・学術審議会の建議)に基づき、関係省庁では火山現象の調査を行うこととなっており、海上保安庁は、今回、航空機による目視観測や温度測定等を行います。

### 2 調査日

平成18年10月5日から10月7日(十管区管内は6、7日)

### 3 調査区域

桜島、薩摩硫黄島、口之島、諏訪之瀬島等10箇所(別紙付図参照)

### 4 調査内容

#### (1) 地形変動、変色水調査

熱計測処理装置による温度測定、デジタルビデオカメラによる撮影及び目視観測

#### (2) 航空磁気測量

航空機搭載プロトン磁力計による磁気測定

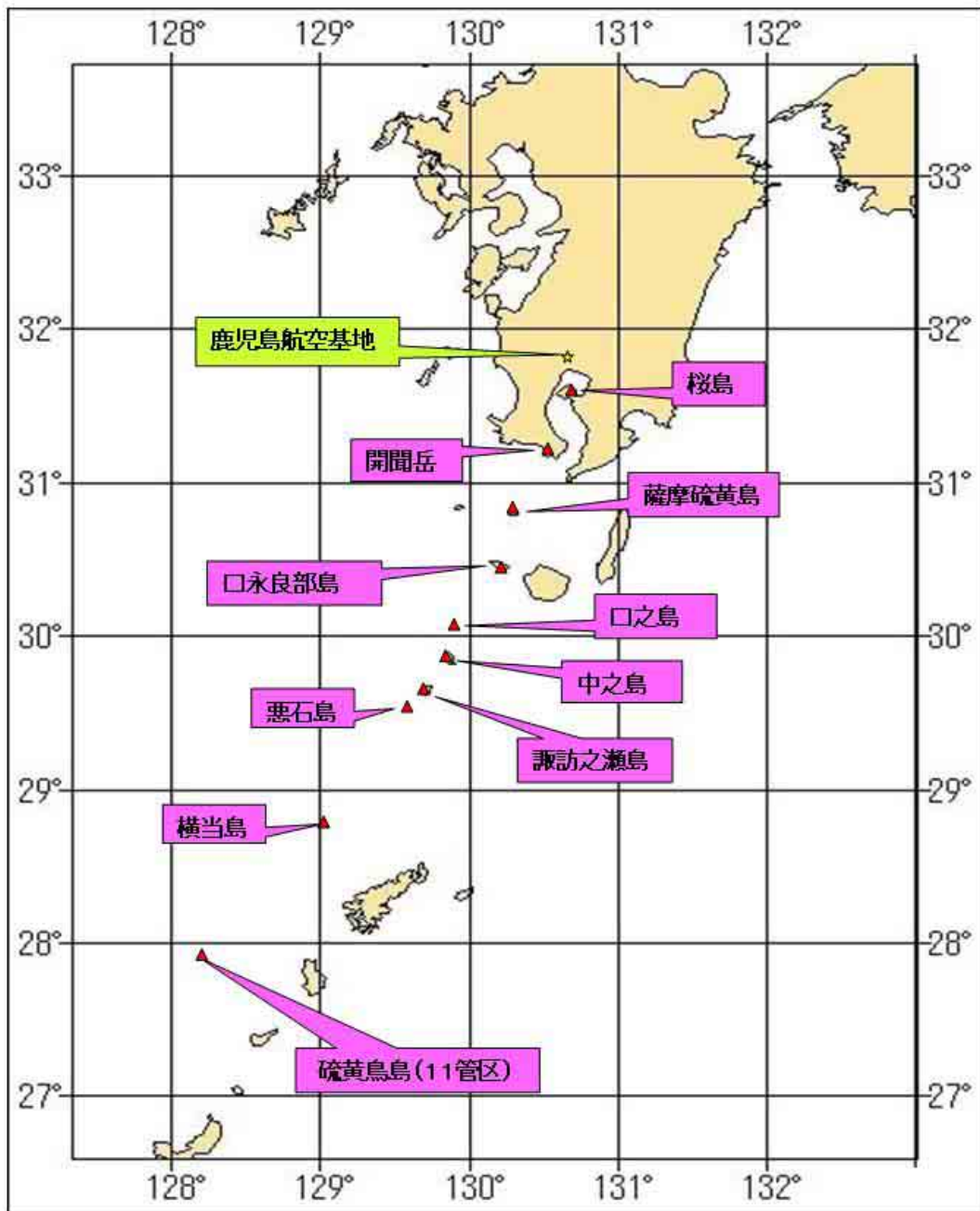
### 5 使用航空機

第三管区海上保安本部羽田航空基地所属 LA701号機(YS-11A)

### 6 調査機関

海上保安庁、第十管区海上保安本部、第十一管区海上保安本部  
東京工業大学

付図



### 海上保安庁が火山監視を行う理由

平成15年7月24日付の「第7次火山噴火予知計画（平成16年～20年）の推進について（建議）」の中で、海上保安庁海洋情報部は南方諸島及び南西諸島の海域火山について、航空機による定期巡回監視を行うこととされている。

### 海域火山とは

海底火山、火山島及び海域に影響を与える陸域火山のこと

### 火山の磁気を測定する理由

磁石を熱すると磁気が無くなる現象が知られている。一般に火山は強い磁気を持つ岩石により構成されており、マグマや高温ガスの上昇などでその磁場が変化し地磁気異常が起こる。このことから火山状態を知ることができる。

### LA701号機（YS 11A）とプロトン磁力計

